

# おてんま

もっと下仁田とつながる小さな本



vol.3

## おてんまの人々



編集メンバー  
普段は薬剤師

縁があって生まれ育って、一度は外に出たけれど、また戻ってきた下仁田町。変わったこともあったけど、変わらないものもあり、寂しかったり、嬉しかったり。一人でも多くの方に下仁田町の魅力を伝えられれば嬉しいです。下仁田町の人や自然は、あたたかく、優しく迎えてくれますよ。



編集メンバー  
普段は農業見習い

東京から移住してきて、地域おこし協力隊として、農業を学んでいます。「その土地にどんな人がどんな思いをもって住んでいるのか」様々な出会いの喜びを手作りで、読者の皆様に伝われば嬉しいです。



編集メンバー  
普段は農家の嫁

県外出身の私ですが、編集部を通して、様々な“人”と“モノ”に出会うことができました！



編集メンバー  
普段は農家

下仁田町は「こんにゃく」や「下仁田葱」など特産物がたくさんあります。こんにゃくはヘルシーフードとして、下仁田葱は高級郷土野菜として全国に親しまれています。下仁田町ならではの厳しい天候の下での栽培ですが、そんな作物達に囲まれて生きていくのも楽しいです。



—表紙のはなし—

小さな本のサイズが大きくなりました！

vol.3では「おてんまの人々」にフォーカス。「町にワカモノを呼びたい」「ワカモノのコミュニティをつくりたい」そんな想いと下仁田町の魅力を紹介。表紙はおてんま編集部の高野綾子さん。下仁田町出身で埼玉県で暮らす彼女は、帰省すると編集部にも顔をだす。今はまちを離れているけれど、関係人口として、まちに関わっている。

発行月 | 2019年6月

編集 | まちの人 & おてんま編集部 (伊藤彩香/大井田文雄/片山美雪/神戸重信/神戸悠加/篠原司/西原ヒロキ/チョウ・ジーイン/高野綾子)

発行/問合せ | 下仁田町役場 企画課 地域振興係  
群馬県甘楽郡下仁田町大字下仁田 682 TEL 0274-64-8809



Facebook

# 下仁田町で開かれる話題のフェス「Vibration table」 人が出会い、音楽も食も楽しめる。 10回目を迎える今年を最後に、いったん休止する。 “Finally”でも、縁を大切にしたい彼らの想いは カタチをかえて、未来に受け継がれる。



フェス会場



草刈りスタッフ集合写真

## まちの人 × おてんま編集部

まちの人



パイプレーションテーブル  
現実化委員会  
代表 田村 純一さん  
(普段は会社員です)

**編集部** こんにちは。今日はパイプレーションテーブルの話が聞けるので、楽しみにしていました。さっそくですが、パイプレーションテーブルってどんなイベントなんですか？

**田村さん** 子供から大人まで楽しめる入場無料の野外音楽フェスで、音楽も楽しめるし、キッチンカーも来るから食も楽しめる。ハンドメイド作品、リラクゼーション、ワークショップなど150組以上の出店者さんが参加してくれているんだ。  
**編集部** 東京から去年移住してきたから知らなかったんだけど、インスタグラムを見たら、子供たちも参加しているのを知ったんだ。音楽イベントだと、大人が楽しむ場ってイメージだけど、そういうものとは違うなと感じたよね。

**田村さん** 山の中腹にあるほたる山公園には子供だけのエリアがあって、会場も

## 下仁田町に若者を呼びたい

**田村さん** 田舎に長く住んでいると、色々な可能性を知らないで大人になるんじゃないかな。自分がそうだったから。そんな思いをしてほしくないなと。音楽だけでなくダンスやパフォーマンス、ものづくりなどのワークショップを通して子供たちにいろいろな可能性を知ってもらいたい。最初はバイクイベントを考えたんだけど、まちの人に協賛金をいただいているから、自分たちだけ楽しむのではなくて、みんなが楽しめるものじゃないとだな、と思って。下仁田町に若者を呼びたい、という想いもあって、それで、音楽+バイクのイベントから音楽+食べ物、子供から大人まで楽しんでもらえるイベントにしようという方向を変えたんだ。保育園児、ダルクの琉球太鼓というように幅が広がった。ちょうどその頃にクラフトブームがきて、若い女の人々が手づくりできるものを取り入れて、ジャンルを増やして今のカタチになっていった。

**編集部** 自然に盛り上がりすぎてきた感じなんですか？

**田村さん** そうだね。3年くらい経った頃に、高崎支部ができてフチコミで知名度が高くなっていったよね。

**編集部** イベントの規模が大きくなるって、ボランティアだけではまかなえなくなる部分が出てくるけど、出店料とか出演料のことがありますよね。

**田村さん** 「なんでこんなにいいイベント

おてんま編集部



**編集部** その人がいなくなったら、もしもしたら出来ていなかったかもしれないですよ。

**田村さん** やっぱ無理だね、ってなったかもしれない。諦めはしなかったけど、その人が居なければこまごまのものはできなかつたかもしれない。

**編集部** 偶然というかが必然というか。繋がっているというか。

**田村さん** 田村さんが呼び寄せたのかもわからないよね。

**田村さん** 共鳴・共振っていう部分からイベントの名前を「パイプレーション」ってつけたんだ。会場が高台で、テーブル。そこから「パイプレーションテーブル」。

**編集部** このイベントって、自然の中で音を出して、音楽でつながることを小さな子供から年配の方まで健全にやっていると、幅も広い。町の盆踊りだったら小さな子供もいて、おじいちゃんおばあちゃんもいるというのはわかるんだけど、そうではないイベントで客層が幅広いのは珍しいよね。

**編集部** 西牧さんもおばあちゃんにはバスを乗り継いで遊びに来て、焼きそばを買って帰る。そういう楽しみ方もあるんだな、って。

**編集部** そうなんだよね。色々な人たちがそれぞれ楽しんでくれるというのはすごいことだね。おてんまって、みんなのためになることをみんなでする、っていう意味の方言だけど、パイプレーションテーブルも、おてんまだよね。

**編集部** 今日はありがとうございました。

**田村さん** 大きなきイベントは今年で一休みだけど、来年以降は規模やカタチを変えて続けていくので、また違った下仁田町の魅力を伝えていきたいですね。今日はありがとうございました。

おてんま編集部



アウトドアが出来る場所。だけどお客様にしたら条件がよくない開催地なんだよね。前橋や高崎から来る人にとったら下仁田町って上信電鉄の終点で、車で来ても駐車場からシャトルバスエリアまで距離がある。下仁田の町の中を歩いてもらうために、あえてそうしているんだ。商店街の人達から「町の外から人がたくさん集まるなら、まちなかも歩いてほしい」という声が出て、それでほたる山公園だけじゃなくて、こんなにエリア、赤レンガエリア、街並みエリアと規模が大きくなっていった。

**編集部** パイプレーションテーブルの日は、まちなかを歩いている人の数が多いよね。年齢層が若い人が多い。中央通りを通る人も多いもんね。活気のある下仁田の雰囲気というか。僕が子供の頃は怖いくらい人が歩いてたよ。飲み屋さんもたくさんあったし。だから、パイプレーションテーブルの日は昔を思い出すよ。

**編集部** 下仁田町に「行ってみたい」と思うきっかけになればいいよね。

**編集部** 下仁田町の人口って7000人くらいでしょ？その町に、5000人以上が集まるイベントで、入場無料、出店無料ってすごいですよね。

**編集部** 偶然というかが必然というか。繋がっているというか。

**田村さん** 田村さんが呼び寄せたのかもわからないよね。

**田村さん** 共鳴・共振っていう部分からイベントの名前を「パイプレーション」ってつけたんだ。会場が高台で、テーブル。そこから「パイプレーションテーブル」。

**編集部** このイベントって、自然の中で音を出して、音楽でつながることを小さな子供から年配の方まで健全にやっていると、幅も広い。町の盆踊りだったら小さな子供もいて、おじいちゃんおばあちゃんもいるというのはわかるんだけど、そうではないイベントで客層が幅広いのは珍しいよね。

**編集部** 西牧さんもおばあちゃんにはバスを乗り継いで遊びに来て、焼きそばを買って帰る。そういう楽しみ方もあるんだな、って。

**編集部** そうなんだよね。色々な人たちがそれぞれ楽しんでくれるというのはすごいことだね。おてんまって、みんなのためになることをみんなでする、っていう意味の方言だけど、パイプレーションテーブルも、おてんまだよね。

**編集部** 今日はありがとうございました。

**田村さん** 大きなきイベントは今年で一休みだけど、来年以降は規模やカタチを変えて続けていくので、また違った下仁田町の魅力を伝えていきたいですね。今日はありがとうございました。

おてんま編集部



色鮮やかなガーランドを見上げて空も眺めてみよう。下仁田の自然を体中で体験できるはず!



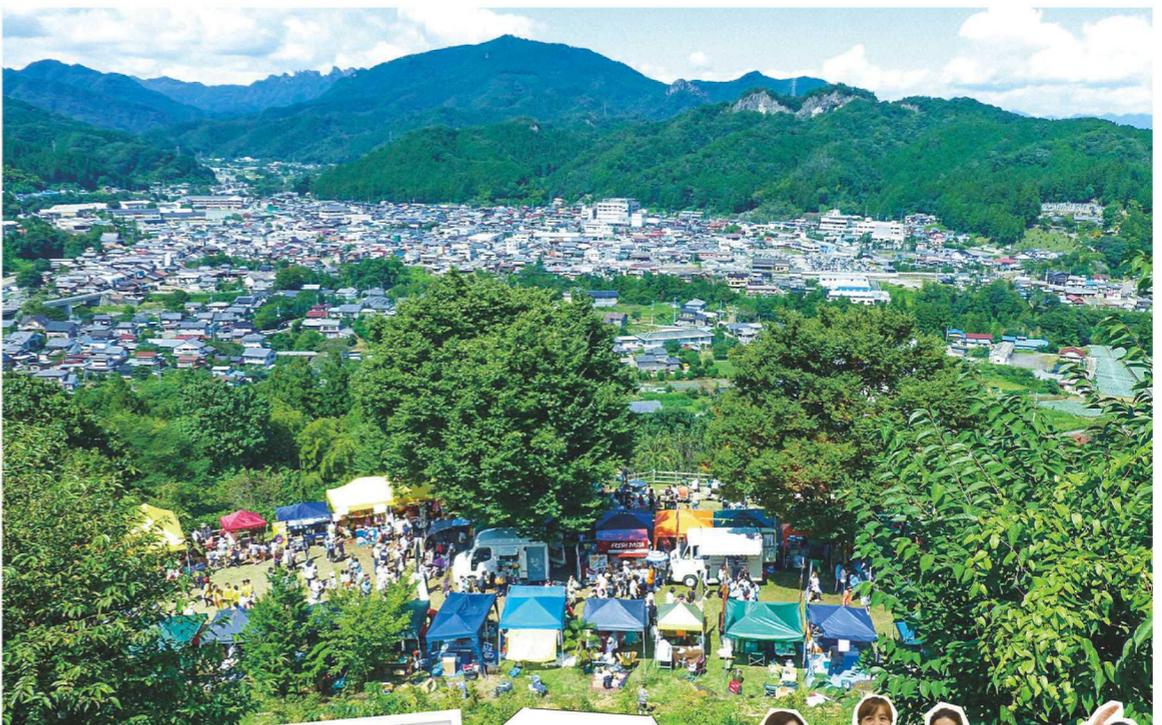
キッチンカーも! お気に入りのFOODをみつけよう!



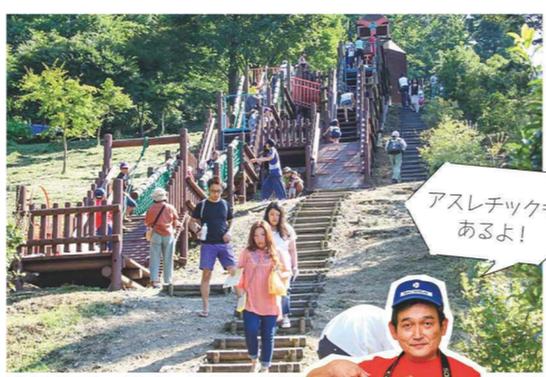
# 高台からワカモノのチカラを発振 ~Vibration table "10" Finally~

2019.9.15(SUN) OPEN 9:30 / CLOSE 17:30

|                    |                            |
|--------------------|----------------------------|
| 場所                 | シャトルバス                     |
| ほたる山公園 10:00~17:00 | 発着 こんにやく手作り体験道場 9:00~18:30 |
| まちなか 10:00~15:00   |                            |



地元農家と会える! 野菜も買える!



アスレチックもあるよ!



保育園児のマーチングバンドから熟練のブラスバンドまで参加しているよ。ジャンルの幅広さはパイレーションテーブルならでは!



最後はみんなで風船を飛ばそう。



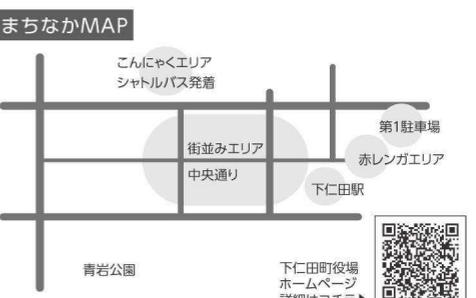
看板もスタッフが手作り!

今年で最後だからこそ、僕たちスタッフももっと楽しみたいね!



小さな子も体験できるワークショップもいっぱい!

まちなかもぜひ歩いてみてね。





▲ヤギやヒツジと散歩できる体験も人気



# 体験

## 神津牧場

### 自然という劇場で体験プログラム

標高1000m、387haの広大な土地でジャージー牛たちがのんびりと過ごす神津牧場。自然豊かなこの場所では、場長自らガイドを務めるふたつのツアーを実施します。放牧地で牛を間近に感じながら散歩するツアーと、放牧地から牛舎へ帰る牛を誘導する牛追い体験が行えます。

**神津牧場**  
 5月～6月土日開催  
 10:00～11:00、16:00～17:00  
 0274-84-2363  
 600円  
 上信越自動車道下仁田ICから50分



▲あじさいに続き、サルスベリも

# 花 Hana

## あじさい祭り

下仁田あじさい園は3万㎡の敷地にあじさい2万株が植栽された関東最大規模のあじさい園です。県内外から多くのお客様が訪れる人気スポットです!

**下仁田あじさい園**  
 6月上旬～7月上旬  
 9:00～17:00  
 0274-67-7500 下仁田町観光協会  
 大人300円、小学生100円  
 上信越自動車道下仁田ICから3分

# 群馬デスティネーション キャンペーン

## 春と冬の下仁田ねぎを味わう 下仁田ねぎ味噌づくり体験

全国的に有名な下仁田ねぎですが、実は冬に限られた旬をもつ季節野菜です。地元だけでしか味わえない“春の下仁田ねぎ”を使って約1時間のねぎ味噌づくりを体験。青々とした香り高いねぎ味噌をアツアツごはんのせて味わえます。甘みの強い冬のねぎでつくったねぎ味噌との食べ比べも楽しめます。

**上州下仁田屋**  
 4月中旬～5月中旬  
 2,000円(お土産付き)  
 0274-64-8805 下仁田町商工観光課  
 上信電鉄下仁田駅から徒歩5分、  
 上信越自動車道下仁田ICから約10分



春のねぎ味噌は、伝統的な郷土料理。春の香りが広がります!

▲できたてのねぎ味噌はごはんのおかずピッタリ

## 群馬デスティネーションキャンペーンとは?

2020年4月～6月の3か月間、群馬県内の市町村や観光関係者と全国のJR6社などが一体となって行う大型の観光キャンペーンです。



# うまいもん

かつ丼もおススメ!

## 旬を食す! 春の下仁田 ねぎを使ったメニューを 提供するお店続々!

下仁田ねぎのもう一つの旬 “春の下仁田ねぎ”をメニューに取り入れたDC限定の特別メニューの提供を予定。

**常盤館**  
 11:30～14:30、17:30～19:00  
 0274-67-7500 下仁田町観光協会  
 上信越自動車道下仁田ICから10分、  
 上信電鉄下仁田駅から徒歩1分